

CITY OF YOKOHAMA

子どものこころの変化をとらえ
安心な学びの環境をつくる
「横浜モデル」が始動します

～横浜教育データサイエンス・ラボ発の
医療×教育ビッグデータの連携～

2024年11月7日
市長定例記者会見

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

11月にはモデル校での試行が始まります！

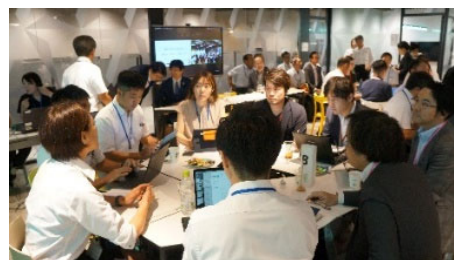
第1回横浜教育データサイエンス・ラボのテーマ

○「子どものこころの不調を軽減する『横浜モデル』の開発」



11月から小学校1校、中学校1校モデル校を設置し、22日より試行開始

横浜教育データサイエンス・ラボ (Data Science Lab) とは



横浜教育データサイエンス・ラボの様子

- 若手から中堅の教職員、専門的な知見をもつ大学研究者、データの分析・加工の専門的な技術をもつ企業で形成される研究の場
- 教員の課題感や求める効果を出発点とし、大学や企業の知見やノウハウを組み込んで研究をする
- 児童生徒約26万人の教育データを分析し、教職員や子どもたちに有効な「教育データ」を提供する

※算数科、数学科の学力と意欲の分析は、継続中

「横浜モデル」の3つの特長

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

- ① **データ**で、子どもの**こころの変化**をとらえ、**こころの不調**を軽減する取組は**日本初**。(※先行事例として、イギリス、オーストラリアなど)
- ② **約26万人の児童生徒**を対象に行う取組。
- ③ **リアル、オンライン、バーチャルの三層空間**で**取り組み**、「**横浜スタディナビ**」で**繋いで**、どこにいても同じように見守り、支援ができる仕組みを横浜から発信。

学習ダッシュボードを活用した児童生徒の状態把握

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

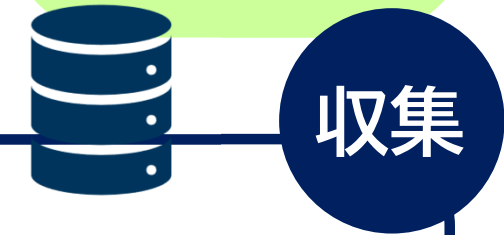


児童生徒用ダッシュボードで
毎朝の健康観察を行っている
様子



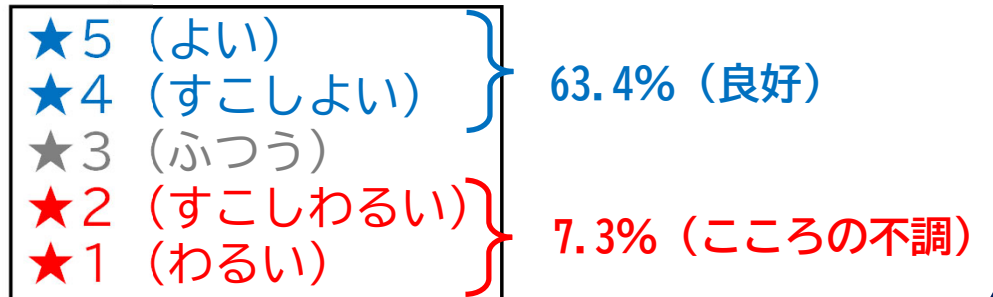
市内小中約483校で
9月・10月の2か月間
に収集した約500万
件のデータ収集実績

こころや体の状態について児童生徒や教員は、
蓄積された状況を捉えることができます。



横浜St☆dy Navi

「毎朝の健康観察」
【こころの様子 5段階】



全国最大規模の教育ビッグデータを活用した 的確なケアシステムの開発へ

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

横浜市
教育委員会

横浜市立大学



共同研究契約を締結

児童生徒
26万人分の
ビッグデータ

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

医療の専門的
知見

YCU
横浜市立大学

収集

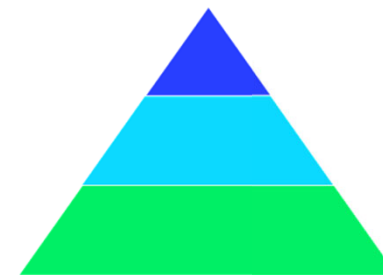
連携

分析

横浜St☆dy Navi
「毎朝の健康観察」
【こころの様子 5段階】

★5 (よい)	} 63.4%
★4 (すこしよい)	
★3 (ふつう)	} 7.3%
★2 (すこしわるい)	
★1 (わるい)	

メンタルヘルス不調の分析



中等度

軽度

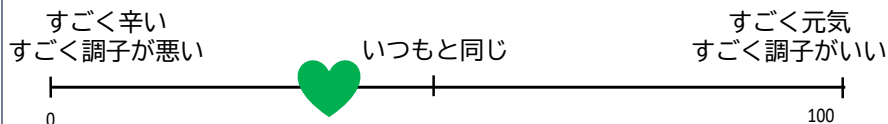
不調なし

モデル校での試行① 「横浜St☆dy Navi」をアップデート 子どものこころの状態の変化を精緻に捉える機能を追加

収集

こころの温度計（毎日実施）

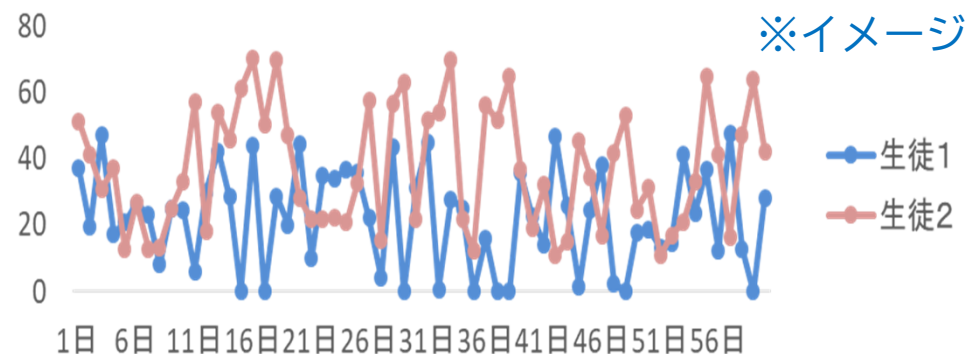
VASによる測定



毎日、こころの状態を0～100で入力

可視化

こころの変化の様子



※VAS：Visual Analog Scale
医療的に体の状態を捉える視覚的なスケール

横浜市立大学 医学群/研究・産学連携推進センター資料（JST COI-NEXT事業）を一部使用、ただし 実際の結果とは異なります

※令和6年度は小学校、中学試で試行 5

モデル校での試行② 「横浜St☆dy Navi」をアップデート 子どものこころの状態を診断し、医療につなげるアンケート機能を追加

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

収集

こころの定期健診（月1回実施）

◆最近、普段楽しんでいた活動に対する興味、楽しみを感じられなくなったかどうか。

全くない

数日

半分以上

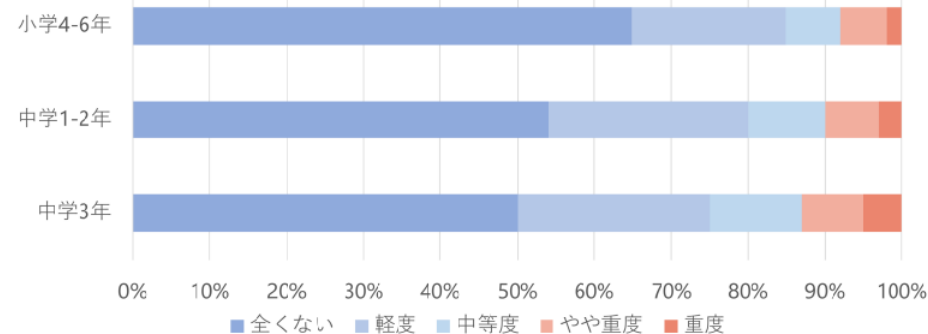
ほとんど毎日

※20問程度

可視化

抑うつ（気分の落ち込み）の状態の割合を示す

※イメージ



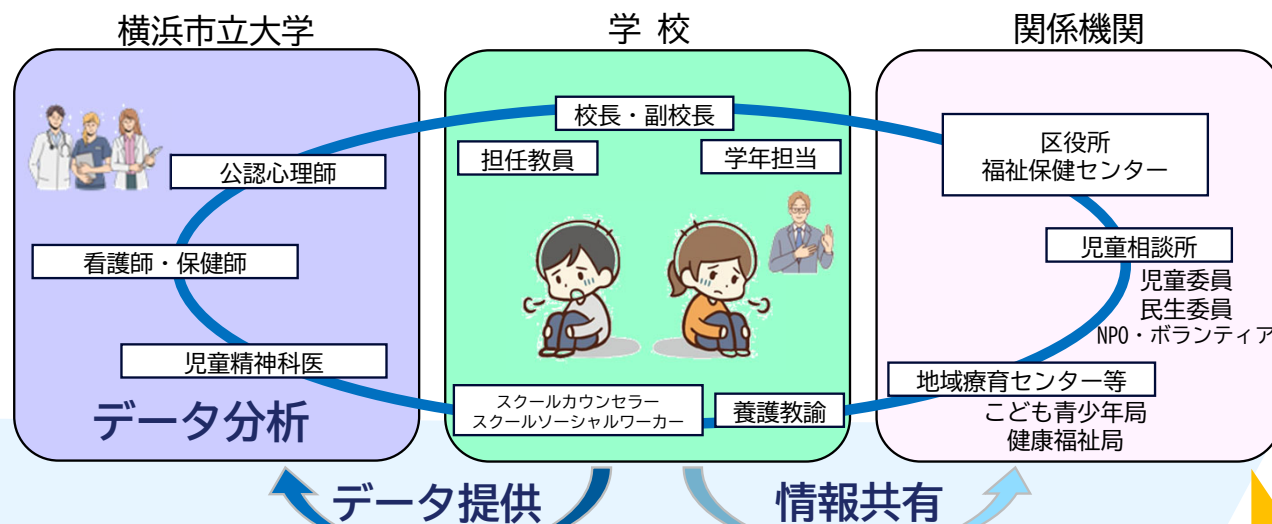
幸福度や抑うつ（気分の落ち込み）状態を把握

※令和6年度は小学校、中学校で試行

横浜市立大学 医学群/研究・産学連携推進センター資料（JST COI-NEXT事業）を一部使用、ただし 実際の結果とは異なります

三層空間で子どものこころの不調を可視化し、軽減する「横浜モデル」

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA



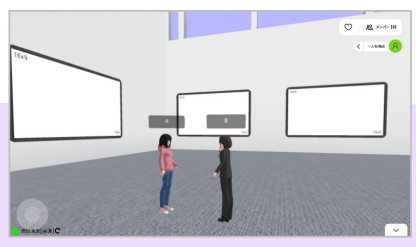
こころの
状態に応じたケア

- 子どもには…
- ・ 医療未満の児童生徒への相談機能でケア
 - ・ 早期の精神科医療等の受診を助言する
- 教員や保護者には…
- ・ 医療診断が必要かどうか専門的に助言し、メンタルヘルスリテラシーを向上



横浜St☆dy Naviを使った
AIチャット相談

オンライン



メタバース空間内でアバターを活用した
バーチャル相談

バーチャル

横浜St☆dy Naviで繋ぐ

横浜市立大学 医学群・研究・産学連携推進センター資料 (JST COI-NEXT事業) を一部使用、ただし 実際の結果とは異なります

第2回 子どものこころの変化をとらえ 安心な学びの環境をつくる「横浜モデル」を試行します

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

<日時> 令和6年11月21日(木) 15:00~16:45

<会場> 横浜市西区みなとみらい一丁目1番1号 横浜国際協力センター6階
Y-PORTセンター公民連携オフィス(ガレリオ)

子どものこころの変化をとらえ、不調を軽減する
「横浜モデル」の試行にあたっての期待や課題

<プログラム>

- ・横浜市立大学との共同研究契約締結式
- ・「横浜モデル」の概要
- ・グループディスカッション
- ・モデル校での実施に向けて

